公益社団法人愛知県医師会 第1回(定例) 理事会議事録

開催日時:平成 26 年 4 月 10 日 (木) 午後 2 時 30 分~午後 4 時 50 分

開催場所:愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会 長(代表理事) / 柵 木 充 明

副会長(代表理事) /山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理 事/稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一城 義政 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 樫尾 富二

樋口俊寛 伊藤富士子 纐纈雅明 細川秀一

監事/加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬敬紀

代議員会議長/杉田洋一

代議員会副議長/藤 原 誠 治

欠席者

松尾清一

議事録作成者 横地宏和

※加藤理事離席の為、報告事項 17-E は、報告事項 17-F の後に、伊藤(健) 理事より報告した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者 23 名 (うち理事 18 名) で、理事現在数 19 名の 2 分の 1 以上 (10 名) の出席があり、定款第 39 条第 6 項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議事

一承認事項一

- 1. 庶務関係事項について
- (1)後援並びに共催について
 - ①子どもをタバコから守る会・愛知(世話人代表 稲垣幸司:愛知学院大学短期大学部歯 科衛生学科教授、同歯学部歯周病学講座准教授(兼担))主催の2014年世界禁煙デーin 愛知〔5/18(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

②一般社団法人 愛知県理学療法士会(代表理事 鳥山喜之)の行う災害医療に関する講

演会の後援名義について

市川理事より説明があり、承認された。

(2) 第8回在宅褥瘡セミナーin 愛知(当番世話人 柴田佳久:豊橋市民病院 外科・肛門 外科部長)主催の第8回日本褥瘡学会 在宅褥瘡セミナーin 愛知〔6/15(日)〕の後援 について

市川理事より説明があり、承認された。

(3) 国士舘大学(学長 三浦信行) 非常勤講師の委嘱について

市川理事より説明があり、愛知県救急医療情報センター野口統括センター長の委嘱が承認された。

(4)透析療法審査委員会委員の推薦について

市川理事より説明があり、愛知県透析療法審査会議及び名古屋市透析療法審査委員会の委員を推薦することが承認された。

(5)愛知医科大学(医学部長 佐賀信介)非常勤講師の委嘱について

市川理事より説明があり、愛知県救急医療情報センター野口統括センター長の委嘱が承認された。

(6)愛知県眼科医会の顧問就任依頼について

市川理事より説明があり、柵木会長の顧問就任が承認された。

(7)5月の県下医師会長等協議会について

市川理事より説明があり、5月の県下医師会長等協議会を休会とすることが承認された。

- 2. 日本医師会 ACLS (二次救命処置) 研修の指定について 稲坂理事より説明があり、日本医師会指定研修の申請が承認された。
- 3. 平成 26 年度地域別救急・災害医療対策推進事業補助金配分(案)・診療科別救急・ 災害医療対策推進事業費補助金配分(案)について 稲坂理事より説明があり、標記補助金配分額が承認された。
- 4. 平成26年度 愛知県医師会諸会議日程(案)について

市川理事より説明があり、本年度の理事会、県下医師会長等協議会、代議員会、日医代議員と本会役員との合同協議会の開催日が承認された。

柵木会長より、6月開催の第172回(定例)代議員会終了後に懇親会を行うか質問され、市川理事より、基本的には年度の第1回目の代議員会にて懇親会を行うことにしていると回答された。

柵木会長より、第172回(定例)代議員会では、新役員の紹介等従来と違った形のプログラムを組むよう市川理事へ依頼された。

5. 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

市川理事より説明があり、5月1日(木)から10月31日(金)までの実施が承認された。 柵木会長より、本件について会館内に張り紙を掲示すると発言された。

6. 学校保健部会学校健診委員会の委員変更について

吉田理事より説明があり、大手信之先生から武田裕先生へ変更することが承認された。

7. 愛知県医師会会員相談窓口第1回事例検討会〔6/2(月)〕開催について (愛知県医師会主催:802会議室)

大輪理事より説明があり、標記事例検討会の開催が承認された。

- 8. **愛知県医師会医療秘書学院役員及び講師(案)** について 大輪理事より説明があり、愛知県医師会医療秘書学院役員及び講師が承認された。
- 9. 愛知県医師会医療秘書学院アルバイト雇用(更新)について 大輪理事より説明があり、アルバイトの雇用が承認された。
- 10. 平成26年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会 [5/10(土)] 開催について

(愛知県医師会主催:9階大講堂、8階会議室)

大輪理事より説明があり、標記事例検討会の開催が承認された。

11. 平成26年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)講演会 [7/26(土)] 開催について

(愛知県医師会主催:9階大講堂、8階会議室)

大輪理事より説明があり、標記講演会の開催が承認された。

- 12. 愛知県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会委員の推薦について 樋口理事より説明があり、委員5名を継続して推薦することが承認された。
- 13. 医療安全対策委員会 委員の追加委嘱について

細川理事より説明があり、山根則夫先生の委員追加委嘱が承認された。

柵木会長より、7月以降の委員構成について質問され、細川理事より、本件は引き継ぎのための暫定措置で委員 27 名とするが、7月以降は現状の委員 26 名とすると回答された。

14. 各種委員会・部会について

A) 母体保護法指定医師審査(小)委員会〔4/23(水)〕開催について (801 会議室)

伊藤(富) 理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。

一協議事項—

15. 入会金の徴収猶予申請について

市川理事より説明があり、海部医師会、半田市医師会から申請のあった入会金徴収猶予申請が承認された。

16. 会費の減免申請について

市川理事より説明があり、名古屋市医師会、尾北医師会から申請のあった会費減免申請が承認された。

17. その他

・愛知県医師会交響楽団サマーコンサート〔7/6(日)〕 開催について

山本副会長より説明があり、刈谷市総合文化センターで開催される社会福祉士法 人ひかりの家チャリティコンサートチケットの配付購入協力依頼を、4月の県下医 師会長等協議会で行うことが承認された。

・第172回(定例)代議員会〔6/21(土)〕の協議について

柵木会長より、樫尾理事より「保険指導監査の現状」、細川理事より「医療安全調査委員会の愛知県医師会の取り組み」について各20分程度発表するよう提案があり、承認された。

柵木会長より、特段の理由がない限り決議文は行わないと発言された。

・日本医師会第 24 回「指導医のための教育ワークショップ」〔7/12 (土) ・13 (日)〕 に ついて

伊藤(健)理事より、改選時期と重なるため、今回は本会役員からの参加を見合わせる旨説明され、承認された。

柵木会長より、次回は新任の役員に参加して頂くと発言された。

一報告事項一

- 1. 第 131 回日本医師会(臨時)代議員会〔3/30(日)〕について (日本医師会主催:日本医師会館) 柵木会長より、代表質問、個人質問について説明された。
- 2. 愛知県訪問看護ステーション連絡協議会講演会〔3/23(日)〕について (愛知県訪問看護ステーション連絡協議会主催:9階大講堂) 市川理事より、本講演会は協議会最後の講演会であり、オフィス萩原代表理事の萩原正子先生にご講演をいただき、出席者は87名であったと報告された。
- 3. 報道関係者との懇談会について

(愛知県医師会主催:1階プレスルーム)

吉田理事より、平成25年4月から平成26年3月までに9回開催した。報道関係者の出席者が少なかったが今後も続けていく予定であると報告された。

4. 平成 26 年度定期健康診断における精度管理説明会〔3/25(火)〕について (愛知県医師会主催:7階研修室)

吉田理事より、平成26年度愛知県立学校健診落札業者に精度管理の説明を行った。 尿検査では、標準検体の配布、目視の場合の測定方法の統一、測定条件の調査、 提出データのフォーマットについて、心電図検査は、検査実施における留意事項、 特に、二次検査対象者抽出をガイドラインに準拠すること、所見名の統一、測定 環境の調査、提出データの統一フォーマット、サンプリング調査、費用分担につ いて説明したと報告された。

5. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第11回運営委員会〔3/12(水)〕に ついて

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催:

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務室) 城理事より、第 21 回理事会に提出される予算書、平成 26 年度の事業計画案を検 討した。特定保健指導の単価を動機づけ支援 7, 200 円、積極的支援 20,000 円とし た。特定健診のコード表について会員より追加希望があったが、今後の検討事項 とした。また、愛知県医師会に 320 万円を寄付することを承認したと報告された。 柵木会長より、寄付に対してのお礼をされた。

6. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第21回理事会〔3/27(木)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催:805会議室)

城理事より、平成 26 年 5 月 24 日 (土) で任期期限となる役員を全員再任とすることが承認された。平成 26 年度事業計画では、メンタルヘルス事業の追加、予算では、本年度より役員報酬を支払うことが承認されたと報告された。

柵木会長より、本会の役員が変更になった場合どうなるか質問され、城理事より、 NPO 法人健康情報処理センターあいちの役員も変更になると回答された。

7. 愛知県栄養士会との懇談会〔3/28(金)〕について

(愛知県医師会主催:803会議室)

城理事より、本会の事業見直しにより、平成25年度をもって愛知県栄養士会への新しい献立の委託は終了となるが、愛iれしぴのホームページでのサイトは継続していく。今後も愛知県栄養士会との連携を図っていくために、栄養指導、患者のカロリー計算など新規委託事業について協議し、今後、実施に向けて検討・調整していくことになったと報告された。

8. 保険医協会との懇談会〔4/1(火)〕 について

(愛知県医師会主催:501会議室)

加藤理事より、保険医協会より、医療・介護総合法案に対する対応、選択療養制度(仮称)に関する問題点、診療報酬改定案に対する日本経済新聞掲載記事への対応、消費税増税に関する見解等について資料に基づき解説いただいた。本会からは社会保険診療報酬の課税ゼロ税率方式の導入、診療報酬改定率等の算出方法に関する考察、診療報酬改正に伴う集団指導等について解説を行ったと報告された。

- 9. 平成 25 年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会第 3 回常任委員会及び第 2 回運営委員会・第 2 回医療保険請求事務実技試験委員会〔3/29(土)〕について(全国医師会医療秘書学院連絡協議会主催:東京ステーションコンファレンス)大輪理事より、実技試験委員会では今回の試験結果について検討し、常任委員会では運営委員会の議事進行について協議した。運営委員会では、平成 25 年度の会務・会計報告等が行われ、各学院より生徒などの現況について、今年度より埼玉県と岡山県が新たに医療秘書学院を設立し開校することになったと報告があり、また、実技試験の日程を全県合わせる提案がなされたと報告された。
- 10. 名古屋第二赤十字病院 第34回地域医療支援病院運営委員会〔3/24(月)〕について

(名古屋第二赤十字病院主催:名古屋第二赤十字病院)

大輪理事より、初診に係る選定療養費について資料に基づき説明され、委員会では、院長挨拶にて完全予約外来制を今後目指していくとの方針が示された。選定療養費が増えると、病院へ通院し続けたいと思う患者が増え、開業医への逆紹介が減るのではないかとの指摘があったが、これに対して病院側は、終診の患者にはかかりつけ医への転医を説明していく予定であると回答したと報告された。

山本副会長より、紹介状は病診連携室を経由したものが該当するのか質問され、 大輪理事より、病院の開設時間は経由して欲しいが、夜間は紹介状のみでもよい と考えられると回答された。

樫尾理事より、紹介状は体裁が整っているものとし、事前に分かっているものは

病診連携室を経由と言われているが、夜間は仕方がないと発言された。 横井副会長より、名古屋市では名古屋市師医会より配付されている紹介状のフォーマットを利用していると発言された。

1 1.第21回(2013年度第4回)名古屋記念病院地域医療支援病院運営協議会[3/28(金)] について

(名古屋記念病院主催:名古屋記念病院)

大輪理事より、院長挨拶にて藤田病院長より退任の挨拶があった。新院長には長谷川真司先生、地域連携室長には伊奈研次先生が就任される。紹介率は、67.1%~64.4%、逆紹介率は66.3%~61.9%。また、名古屋市救急統計について、後藤署長より説明。全体として増加し、特に急病及び一般負傷での出動が増加したとのことであったと報告された。

12. 治験審査会〔3/26(水)〕について

(愛知県医師会主催:804会議室)

大輪理事より、継続審査 18 件 (統合失調症 6 件 (小児 1 件含む)、潰瘍性大腸炎・大うつ病各 3 件、認知症 2 件、便秘改善薬・乳がん・双極 I 型障害・1 型糖尿病各 1 件) については、すべて承認されたと報告された。

13. 産業医研修会〔4/2(水)〕 について

(愛知県医師会主催:9階大講堂)

西山理事より、121名の出席があったと報告された。

14. 愛知県地方精神保健福祉審議会〔3/27(木)〕について

(愛知県主催:自治センター)

西山理事より、平成 25 年度の愛知県地域保健医療計画の進捗状況について、5 疾病へ変更後の対策として平成 25 年度から 29 年度までの 5 年計画とし、その方針の説明及び、精神保健福祉法の一部改正について報告があったと報告された。

山本副会長より、連携モデル事業について、今後連携は増えていくのか質問され、 西山理事より、増える予定であると回答された。

伊藤副会長より、連携モデル事業は機能するのか、また、検証はどうなのか質問され、西山理事より、お互いが意見を言えるようになってきていると回答され、伊藤 (健) 理事より、各医師が交代で行うという連携であり、救急の連携とは異なると発言された。

15. とよかわ在宅医療・介護ネットワーク講演会〔3/23(日)〕について (豊川市在宅医療連携拠点推進協議会主催:豊川市民プラザ)

樋口理事より、在宅医療連携拠点推進事業の一環として開催され、参加者は146名であった。基調講演1では、高齢化社会像・人口動態を日本と海外を比較し、その体制作りの重要性と今後の医療、介護の連携の必要性を強く訴えた。在宅医

療は必ず整備する必要があり、そのために多職種連携が必要不可欠である。基調講演2では名古屋市中区の会員で埼玉、千葉にも分院を持ち、複数の医師で現在600名の在宅診療を行っている。その経験からの在宅での留意点、在宅医師の体制、多職種との連携の留意点等、実例を挙げて話をされ、iPadを利用した多職種との連携実例の説明もあったと報告された。

16. 第2回 愛知県子ども・子育て会議〔3/24(月)〕 について

(愛知県主催:愛知県自治センター)

伊藤(富) 理事より、主に愛知県子ども・子育て支援事業支援計画について活発な議論が行われたと報告され、少子化に関する県民意識調査結果について資料に基づき説明された。

17. 各種委員会・部会について

A) 医療安全対策委員会 [3/18(火)] について

(803・804 会議室)

細川理事より、平成26年3月分委員会提出案件15件(新規12件、解決3件)について、平成26年度講演会の企画について検討したと報告された。

柵木会長より、案件数は増えているか質問され、細川理事より、横ばいであると 回答された。

B) 医療安全支援センター (苦情相談センター) 委員会〔3/25(火)〕 について (6 階研修室)

大輪理事より、平成26年2月分の事例報告・検討を行い、新規事例99事例、継続相談回数17事例で20回、総計119回(歯科事例なし)について、生活保護受給者の受診、カバサールの投薬量、診断書の記載内容、診療拒否、濃厚治療、ブロック注射後の手の痺れについて報告。大学病院と医師会の連携等について協議を行ったと報告された。

C) 産業保健部会幹事会 [3/28(金)] について

(6 階研修室)

西山理事より、日医認定産業医研修会の実施状況、申請者数 (新規・更新)等の現状報告があった。また、産業保健三事業一元化について愛知産業保健総合支援センター(旧:愛知産業保健推進センター)より説明があったと報告された。

D) 救急委員会〔4/1(火)〕について

(7 階研修室)

稲坂理事より、報告事項では、3月28日(金)までに行われた関係会議等について報告がなされた。協議事項では、医療連携体制推進事業として小児救急対策関連の実施、平成26年度地域別救急・災害医療対策推進事業補助金配分(案)・診療科別救急・災害医療対策推進事業費補助金配分(案)等について議論がなされたと

報告された。

E) 調査室委員会〔4/2(水)〕について

(5 階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、会員意識及び実態調査のクロス集計結果について、資料に基づき説明の後意見交換を行った。また第 131 回日本医師会(臨時)代議員会における横倉会長の挨拶要旨及び答弁内容について資料に基づき説明を行ったと報告された。

F) 男女共同参画委員会〔4/3(木)〕について

(501 会議室)

伊藤(富)理事より、平成26年度以降の「医学生、研修医等をサポートする会」等の講演会について、県下各大学医学部における男女共同参画及びワークライフバランス等に関する講義の医学部教育カリキュラムへの導入状況について協議し、また、医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度の対象事業のひとつである「医療従事者等の確保・養成のための事業」について、どのような事業を行うことが女性医師支援に有効であるか、活発な議論が交わされた。その結果、男女共同参画委員会として、「院内保育所および有床小児科診療所を活用した病児・病後児保育システム」の構築について、企画案を提出することになったと報告された。

18. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年4月10日